

ロングトレイル “歩く旅”に出かけよう！



Photographed by Robin Lewis

みちのく潮風トレイル 縦断ミニフォーラム 06 in 仙台

みちのく潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail

日時：平成 30 年 2 月 18 日 日

10:00 開演 12:00 終了 9:30 開場

場所：東北大学片平キャンパス内

片平さくらホール 2階会議室 (仙台市青葉区片平 2-1-1)

仙台駅から徒歩 20 分、地下鉄あおば通一番町から徒歩 10 分、
市営バス東北大正門前より徒歩 5 分

事前申し込み：不要 (当日先着順：150 名)

参加費：無料

問合せ先：東北地方環境事務所国立公園課

TEL 022-722-2874 FAX 022-722-2872

プログラム

挨拶：環境省

「みちのく潮風トレイル」のいま

報告◎環境省

10:00～10:10

第一部：

基調講演

10:10～10:40

ゲスト◎海津ゆりえ (文教大学国際学部教授)

特別講演

10:40～11:10

ゲスト◎斉藤正史 (NPO 法人山形ロングトレイル理事)

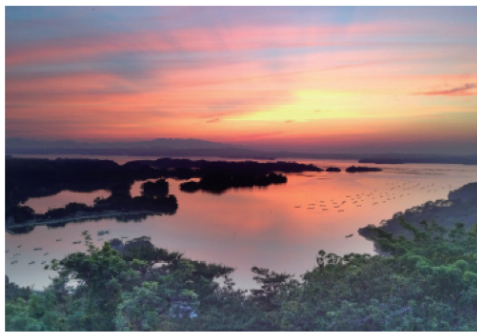
第二部：クロストーク

11:10～12:00

トーク◎海津ゆりえ × 斉藤正史

進行◎木村 宏

(北海道大学特任教授 / NPO 法人ロングトレイル協会常務理事)



みちのく潮風トレイルとは、東北地方太平洋沿岸地域に設定するトレイルコースのこと。環境省では、東日本大震災からの復興に資するため、平成24年5月に「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」を策定しました。森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域のくらしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興することを提唱し、7つのプロジェクトを掲げており、みちのく潮風トレイルはそのプロジェクトのひとつ、青森県八戸市から福島県相馬市までの900キロを超えるロングトレイルです。今回のフォーラムでは、国内外のロングトレイルに詳しいゲストから、歩く魅力と、トレイルがつなぐ人のつながりについてお話いただきます。



登壇者プロフィール



海津 ゆりえ (かいづ ゆりえ)
文教大学国際学部教授

東京生まれ。立教大学理学部卒。農学博士。テイク・ナイン計画設計研究所、地球工作所にて地域計画に従事後独立し、地域づくりとエコツーリズム開発を手掛ける有限会社資源デザイン研究所を立ち上げた。2007年より現職。1980年代末に出会った「エコツーリズム」に惹かれて研究と国内普及に努め、日本エコツーリズム協会の創設に関わった。フィールドは国内外のエコツーリズム推進地域、国立公園、ジオパークなど。震災後は宮古市と裏磐梯で、学生たちとエコツアーの造成を進めている。ロングトレイル歩きはライフワークの一つ。



斉藤 正史 (さいとう まさふみ)
プロハイカー／NPO法人山形
ロングトレイル理事

山形県上山市在住

2012年、会社員からプロハイカーに転身。2013年にはアメリカ三大ロングトレイルを全て踏破する。以降ロングトレイルカルチャー普及のため北米・オセアニア地区を中心に海外のトレイルを歩きながら寄稿を行う。また、プロハイカーとして歩くだけでなく、本場アメリカのトレイルに習ったルートを地元山形に作る活動もおこなう。



木村 宏 (きむら ひろし)
NPO 法人日本トレッキング協
会理事／NPO法人日本ロング
トレイル協会常務理事／NPO
法人信越トレイルクラブ理事

大学卒業後リゾート開発、ホテル経営会社の勤務を経て、長野県に移住、自らの宿泊施設の経営後、日本型DMOの先駆けとなる信州いいやま観光局の運営を実践。グリーンツーリズム、公共施設運営、着地型商品の造成、観光まちづくり事業に関わる。新幹線飯山駅構内の観光交流拠点整備や、小布施の老舗菓子屋の観光施設運営も参画。また、信越トレイルの立ち上げ、運用に関わり、全国のトレイルの普及活動にも携わる。平成28年4月から、北海道大学観光学高等研究センター 特任教授

現在の開通区間

